

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 1
要綱上の事業名称	(19) 被災者へのコミュニティ活動支援事業
細要素事業名	平成 2 7 年度作田地区コミュニティ施設増改築調査・設計事業
全体事業費	9, 0 0 0 千円
<p>【事業概要】</p> <p>当地区は、防災集団移転促進事業を 2 事業（団地）実施しており、事業の進展により地区内居住者が増えている。このため移転先の団地を含む行政区では世帯数が増加し、既存のコミュニティ施設（地区公会堂）が手狭になっている。</p> <p>これに対し当調査では、前段に既存の地区コミュニティ施設を調査し、増加世帯数に対応した増築の可否を検討し、その判定を基に増築又は建替えの実施設計を行う。</p> <p>【事業期間】 平成 2 7 年度</p> <p>【事業費】</p> <p>平成 2 7 年度 9, 0 0 0 千円</p> <p>【基幹事業】</p> <p>事業番号と事業名 D 2 3 - 2 新地町作田東防災集団移転促進事業</p> <p>基幹事業との関連性</p> <p>基幹事業により移転再建を果たした被災者が増えている中、移転先団地を含む行政区でのコミュニティ活動や交流の場を整備し、円滑に暮らせるようなコミュニティの育成へとつなげていく。</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 6 - 11																						
要綱上の事業名称	(22)避難誘導施設整備事業																						
細要素事業名	平成27年度小沢北道路整備事業																						
全体事業費	140,000千円																						
<p>【事業概要】</p> <p>現在町の津波避難道としては、南北にある高台の尾根を利用した道路整備を進めているが、沿岸部低地（東）から高台（西）へ迅速に移動する避難道が不足している。</p> <p>整備路線の東側終点は、県道（主要地方道相馬亘理線）に接続することになり、大戸浜富倉線を経由し避難場所（総合体育館）まで避難が可能になる。仙台方面には釣師浜漁港、相馬方面には松川浦漁港、相馬港、相馬中核工業団地があり県道との接続は、沿岸部からの避難動線の強化とともに、就労環境の強化や利便性の向上に繋がる。</p> <p>【事業期間】 平成27年度～平成29年度</p> <p>【事業費】</p> <table border="1"> <tr> <td>平成27年度</td> <td>委託費</td> <td>24,500千円</td> <td>（今回提出分）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">平成28年度</td> <td>用地費</td> <td>15,300千円</td> <td>（次回以降提出分）</td> </tr> <tr> <td>補償費</td> <td>3,000千円</td> <td>（次回以降提出分）</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>50,000千円</td> <td>（次回以降提出分）</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>工事費</td> <td>47,200千円</td> <td>（次回以降提出分）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">140,000千円</td> </tr> </table> <p>【基幹事業】</p> <p>事業番号と事業名 D 23 - 6 大戸浜地区防災集団移転促進事業</p> <p>基幹事業との関連性</p> <p>沿岸部低地から高台にある防災集団移転団地へと、迅速な移動するための避難道路となる。</p>		平成27年度	委託費	24,500千円	（今回提出分）	平成28年度	用地費	15,300千円	（次回以降提出分）	補償費	3,000千円	（次回以降提出分）	工事費	50,000千円	（次回以降提出分）	平成29年度	工事費	47,200千円	（次回以降提出分）	計		140,000千円	
平成27年度	委託費	24,500千円	（今回提出分）																				
平成28年度	用地費	15,300千円	（次回以降提出分）																				
	補償費	3,000千円	（次回以降提出分）																				
	工事費	50,000千円	（次回以降提出分）																				
平成29年度	工事費	47,200千円	（次回以降提出分）																				
計		140,000千円																					

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 6 - 12																
要綱上の事業名称	(19) 被災者へのコミュニティ活動支援事業																
細要素事業名	平成27年度今泉地区コミュニティ広場整備事業																
全体事業費	27,100千円																
<p>【事業概要】</p> <p>今泉地区は東日本大震災より全壊流出した世帯とまったく被害の無かった世帯が混在している地区であり、地区の一部は移転促進区域に指定されている。 被害の無かった世帯や被害が小さかった（床上浸水等）世帯は現地再建をしているが、地区外へ移転している世帯もあり、地域のコミュニティが失われつつある。 本事業により、コミュニティ活動の場となるコミュニティ広場を整備し、地区外に移転した住民との交流を活性化させる。さらには、現地再建した世帯間のコミュニティ強化も図る。</p> <p>本整備箇所は、今泉地区で被災した住宅が一番密集していたエリアである。旧居住者は地区外で住まいを再建させているが、未だ心の傷は癒えていない。震災当時、少しでも海から離れたいという気持ちもだいぶ落ち着き、旧居住地を訪れる方も増えてきている。 生まれ育った旧居住地の環境を整備し、定期的の花いっぱい運動等を地区に残った方と一緒にしながら、今泉地区の「心の復興」も図る。 また、地区の避難場所の高台（葉師堂）に隣接しているため、災害時にはいち早く避難場所へ向かうことができるという防災面の優位性としての施設活用のほか、利用者が安心して活動ができるという精神面でも期待できる。 さらに今後は、地区防災訓練もコミュニティ広場で開催する。（今次津波でも、高台に避難し助かった方が多い。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業地区 新地町今泉地区 ・事業面積 約3,410m² <p>【事業期間】</p> <p style="text-align: center;">平成27年度～平成28年度</p> <p>【事業費】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">平成27年度</td> <td style="width: 40%;">測量設計費</td> <td style="width: 20%;">5,500千円</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">【今回申請】</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>工事費</td> <td>21,600千円</td> <td style="text-align: right;">【次回申請】</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計</td> <td>27,100千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>【基幹事業との関連性】</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">事業番号と事業名</td> <td>D23-6 大戸浜地区防災集団移転促進事業</td> </tr> <tr> <td>基幹事業との関連性</td> <td>基幹事業の移転元である今泉地区に、移転促進区域の跡地を活用しながらコミュニティ活動・交流の場を整備し、昔ながらのコミュニティと地区内外の交流とにぎわいの再生を図る。</td> </tr> </table>		平成27年度	測量設計費	5,500千円	【今回申請】	平成28年度	工事費	21,600千円	【次回申請】	事業費計		27,100千円		事業番号と事業名	D23-6 大戸浜地区防災集団移転促進事業	基幹事業との関連性	基幹事業の移転元である今泉地区に、移転促進区域の跡地を活用しながらコミュニティ活動・交流の場を整備し、昔ながらのコミュニティと地区内外の交流とにぎわいの再生を図る。
平成27年度	測量設計費	5,500千円	【今回申請】														
平成28年度	工事費	21,600千円	【次回申請】														
事業費計		27,100千円															
事業番号と事業名	D23-6 大戸浜地区防災集団移転促進事業																
基幹事業との関連性	基幹事業の移転元である今泉地区に、移転促進区域の跡地を活用しながらコミュニティ活動・交流の場を整備し、昔ながらのコミュニティと地区内外の交流とにぎわいの再生を図る。																

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。